

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課(館)
	① 達人講座の実施	生涯学習課
	<p>活動内容</p> <p>地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、21講座を実施し伝統文化の継承や各サークル活動の充実を図る。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>今年度新たに2講座(ボードゲーム講座、ログハウス風小物カギ入れづくり)を加え28講座実施した。 近年流行しているボードゲーム、カードゲームを活用した講座「ボードゲーム講座」が今までにないジャンルとして子どもたちに人気であった。 申し込み方法について、昨年度より二次元コードを用いた電子申請を可能にし、電子で申し込みできるような仕組みを整備した(前期のみ、紙又は電子)。今年度後期開催分については業務効率化を図るため紙での申し込みを廃止し、電子での申し込みのみとした。 新たな分野の講座の開催のほか、参加しやすい仕組みづくりに努めた。また、地域の人材と知識を活用し、市民の生涯学習を推進するとともに地域の絆や文化の継承、さらには次世代の育成に寄与することができた。今後とも、伝統文化の継承や各サークル活動等のPRに貢献していきたい。 ・令和5年度:26講座(申込者数527人、前年度より19%増) ・令和6年度:30講座(申込者数512人、前年度より 3%減) ・令和7年度:28講座(申込者数242人、前年度より53%減) </p>	
	<p>課題等</p> <p>昨年度より申込者数が大幅減少となった。その主な原因は、例年人気のスイーツづくり2講座が、講師の日程が合わず開催できなかったことと、屋外での講座が、クマの大量出没による影響で中止となったことによるものである。 今後は、屋外の講座が中止となった場合、屋内で実施するなど、実施場所も配慮して開催していただけるよう講師へお願いしていきたい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>新規講座の実施など、時代に合った、子どもたちの意識を考えた形に積極的に取り組んでいる。電子申請の導入も、利便性向上と業務効率化にも繋がる良い取り組みだと思う。 人数的な部分は残念だったが、様々な事情があるので、やむを得なかったと思う。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課(館)
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」及び「大館市出前講座」の充実と活用	生涯学習課
	<p>活動内容</p> <p>「おおだて人財名簿」:学校、公民館などに名簿を配置し、市ホームページも更新。人財名簿について、名簿への登録の要望があるものの、人財名簿を通じた活動実績がないことから、実態を再度把握するとともに制度上の問題点などを洗い直し、あり方を検討する。</p> <p>「大館市出前講座」:市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(61講座)」を実施し、利用件数150件、受講者数5,000人(延べ)を目指す。</p>	
	<p>点検評価</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>おおだて人財名簿は、年度当初に1名の新規登録を行い、年間を通し申請が1件のみであった。活動実績について令和元年度以降0~1回と停滞している。</p> <p>令和6年度 登録31人 14団体(令和5年度同様)</p> <p>令和7年度 登録32人 14団体</p> <p>大館市出前講座は、昨年度と比較すると実施件数は増加したが、受講者数は減少となった。内容としては例年と同様に「もしものための救急講座」、「いざというときのための防災講座」等の消防に関する講座、「ボッチャ体験」の実施が多かった。また、昨年度に比べ「大館市の防災(防災基礎講座)」の実施件数が5件以上増えており、地域の防災意識の高まりが見られる結果となった。</p> <p>今後も身近な問題や市政の情報などのテーマについて、市民の学習のニーズに応えられるよう市民の学びの機会を積極的に提供していきたい。</p> <p>令和5年度 実施件数 258件 受講者数 7,514人</p> <p>令和6年度 実施件数 187件 受講者数 5,683人</p> <p>令和7年度 実施件数 204件 受講者数 5,643人</p>	
	<p>課題等</p> <p>おおだて人財名簿は、平成23年に発行し運用してきたが、年々人財名簿の利用、登録が減少している。令和元年度以降の活動実績が0~1回と減少が続いているため、令和8年度からの廃止を検討する。</p> <p>大館市出前講座は、昨年度よりメニュー数が4個減少したが、実施件数・受講者数ともに目標値を上回った。また、直近過去3年間で実施が0件の講座もあるため、市民ニーズにあったメニューの見直しにより一層の周知をしていきたい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>人財名簿は、今まで積み上げてきたものについては資料保管などを行い、今後は形を変えていっても良いのかと思う。</p> <p>出前講座は身近な問題として防災関連が多く取り上げられ、今後はクマ対策などの要望も増えてくると思う。引き続き市民のニーズに応えられるようメニューを見直しながら提供していただきたい。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課(館)
	③ 公民館事業への青少年の参加促進	中央公民館
	<p>活動内容</p> <p>各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。わんぱくスクール全6回延べ60人、ラジオ体操開始・終了大会は各10団体100人、7月に行うラジオ体操ワンツー・ワンツー！では200人を予定。</p>	
	<p>点検評価</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>わんぱくスクールでは 子供たちの関心が高い内容【「ドローン体験(夏)」、「簡単に作れるおやつ作り(冬)」等】や保護者が関心を寄せている内容【「新しいお札の秘密(夏)」、「子どもの護身術(冬)」】も合わせて開催した。新しいお札の秘密(夏)では、新任教諭の方3名が研修で参加した。単に子供向け講座というだけではなく、「新任教諭の研修の場」ともなり、一定の開催効果があったと思われる。</p> <p>夏休みに入ってすぐに将棋教室を行い、続けて囲碁教室を行った。ここ数年どちらも参加者が減少している。将棋教室では、最終日にミニ将棋大会を行った。初日に大会実施を説明したことにより、勝負への意欲が沸き、講師と児童の交流も深まったと思われる。</p> <p>新春書初め交流会では老大学生は小学生それぞれの状況を見ながら、適格にアドバイスを行った。休憩時間に一緒にお菓子を食べながら会話が弾み、異世代交流にもつながった。</p> <p>※令和7年度実績 ①わんぱくスクール 全7回 延べ参加人数 61名 ②将棋教室は3日開催、延べ参加人数44名、囲碁教室開催3日 延べ参加人数6名。 ③新春書き初め交流会は小学生9名、老壮大学生書道クラブ6名の合計15名参加。 ④ラジオ体操 4月開始大会100名、10月終了大会50名、7月大規模ラジオ体操 110名参加</p> <p style="text-align: center;">計386人</p>	
	<p>課題等</p> <p>・わんぱくスクールの外での活動は、天候に左右されるため開催方法の見直しや講座を開催の周知するため放課後児童クラブ等への協力やSNS等を活用した情報の発信を行う。また、将棋・囲碁教室は参加者数が減少していることや関心の低さがあるため、他の講座に変更することも検討する。 ・ラジオ体操については、各町内への参加要請、近隣の学校への周知も積極的に行って行きたい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>参加者が興味のある内容でイベントが開催できている。これからも人気講座の継続のほか、新しい内容も吟味しながら続けて欲しい。また、他団体との連携や情報発信の強化を行い、新規受講者の確保に努め頑張ってほしい。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する	担当課(館)
	① 生涯学習推進体制の充実	生涯学習課
	<p>活動内容</p> <p>生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域における学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図る。社会教育主事の資格取得のための環境整備を行い、生涯学習推進体制へつなげる。(幹事会及び協議会を各年1回開催)</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>生涯学習推進協議会では、7月に幹事会(書面協議)、8月20日に協議会を開催した。令和7年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見や助言等が出された。今後、各種生涯学習事業の展開・改善に役立てていく。</p> <p>今年度は、委員が任期満了に伴い、新たに7人の委員が新任となったため、改めて生涯学習推進計画、第8次大館市社会教育中期計画の基本理念等を説明した。また、生涯学習フェスティバルについて、出席された委員の方々に、協賛団体としての参加依頼や9月、10月の強調月間のイベント参加などについてPRをしたところ、積極的に参加の意向があり、イベントを盛り上げていただいた。これにより推進協議会を通じた関係機関・団体との連携強化を図った。</p>	
	<p>課題等</p> <p>生涯学習推進本部としてさらなる庁内連携を進めるとともに、今年度の協議会での委員の意見を反映できるようにしていきたい。</p> <p>生涯学習奨励員には、学習した成果として、地域住民が各種行事や学習会などに参加できるよう、学習情報の収集と提供ができるようにしたい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>生涯学習推進協議会委員の方からは、所属団体のイベント参加など、積極的な協力が得られているとのことで、組織の活性化にも繋がっていくと思う。</p> <p>生涯学習奨励員の方々には、よりやりがいを感じ、生き生きと活躍してもらえるように、サポート体制を整えていただきたい。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する	担当課(館)
	② 大館学び大学事業教育の定着	中央公民館
	<p>活動内容</p> <p>学びによる人材育成、専門的知識の習得、若い世代の公民館利用の促進を主な目的として市民の学びの場を構築していく。 受講者数:令和7年度目標 450人</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>大館学び大学は令和6年5月に中央公民館の主催事業として開講し、2年目となる。 令和7年度は5月24日から3月14日までの間に30講座を企画した。3月末時点での実施状況は、30講座で参加者数418人。 コンセプトは、令和6年度は「学びの入り口」で令和7年度は「学びを繋ぐ」である。大館で活躍している人を講師に迎え、様々なジャンルの講座で学びの入り口を体験し、学び直しやサークル活動へと繋いだ。また、大館学び大学を通じ若い世代の公民館利用の促進も図った。 市民への周知方法としては1つに偏らず、広報と地方紙への募集記事掲載、SNS(X)の活用・市民ホールでのチラシ配布などさまざまな方法で情報発信に努めたところ、高齢者の参加としては広報掲載の効果が顕著であった。また、ポイントカードの導入により、参加者の約2割の人がリピーターとして2回以上の参加となっている。</p>	
	<p>課題等</p> <p>今年度後半は、どの講座もコンスタントに10名程度の申し込みがあり、「大館学び大学」の講座が認知されてきたと思われる。 有料講座であることから、受講者は学びに対しても真剣な思いで参加していることが感じられ、主催者としては講師との入念な打合せの重要性を実感している。 社会人の学び直しと生涯学習の融合をうたっていることから、趣味的な要素の講座も多いが、受講者の思いに応える質の高い講座を維持していくことが今後の課題である。</p>	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>主催がNPO法人から公民館に変わり、内容の充実や精査が難しい面もあったと思うが、職員のアイデアやアンケート結果の活用により充実が図られている。参加者も費用を支払い学んでることから真剣な学びの場となっている。主催者、講師、参加者の思いが繋がることで、より深い学びとなりレベルアップが図られるよう引き続き頑張してほしい。 課題も多いと思うがその一つ一つを解決しながら、より良い講座として今後も大いなる展開が図られることを望む。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する	担当課(館)
	③ 「大学公開講座」、「大学校公開市民講座」の開催	生涯学習課
	<p>活動内容</p> <p>市民の高度化・多様化した学習要望に応えるとともに、高等教育機関に対する理解を深めるためにそれぞれの特徴を活かした市民の公開講座を各年2回開催する。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95～100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80～94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>秋田看護福祉大学の「大学公開講座」は、7月8日及び10月25日の計2回で開催した。認知症の方の権利擁護及び健康づくりをテーマにした講義を実施し、延べ95人が受講した。なお、第2回の10月25日に実施した講座は、大学側からの提案で、大学祭と同時開催することとなり、学内でも講座の周知を積極的にしていただいた。</p> <p>秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開市民講座」は、10月に計3回開催し、DXと関連技術、AR(拡張現実)の体験、3D CADの操作体験をテーマに講義を実施し、延べ25人が受講した。</p> <p>講座では、今では身近となっているIoTやAIの技術の仕組みなどを学んだほか、専門的な機器やソフトウェアを駆使した「モノづくり」を体験することができ、大変有意義な講義をしていただいた。</p>	
	<p>課題等</p> <p>公開講座は、慣例的に平日の夜に開催することとしており、受講者は毎回参加している方が多く、固定化されていると感じられた。</p> <p>今年度は秋田看護福祉大学で土曜日に開催した実績ができたことから、より多くの方に受講していただけるよう、大学・大学校とも調整しながら、開催日時の見直しを図っていく必要があると考える。</p>	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>地域の高等教育機関の活用は、素晴らしい取り組みだと思う。PR方法をもっと工夫すれば、参加者が増え、より普及拡大していくのではないかと。頑張ってもらいたい。何かとタイアップするのも良いのでは。</p> <p>学校側としても、人材獲得、学校のアピールになれば、双方にとっていい事業になっていくと思う。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する	担当課(館)
	④ 超高齢社会に対応した生涯学習の充実	中央公民館
	<p>活動内容</p> <p>公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。中央公民館老壮大学92人全10回、各地区公民館高齢者学級開催(11館)。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>老壮大学は卒業の無い大学であることから、学生の平均年齢は80歳である。60歳代の生き方が多様化しており、60歳代前半の参加者数は少ない。老壮大学の講座として、人生100年時代を生き生きとすごすための講話や健康維持の活動がとても好評であり、月1回の参加が生活のリズムを作っているようである。</p> <p>今年度は、老壮大学文化祭に城南小学校6年生のゴスペルの発表と市民サークルの出演があり、高齢者との交流を深めた。さらに新春書き初め会での老壮大学書道クラブと小学生の交流も行い異世代交流ができた。</p> <p>今年度実績:老壮大学 全10回学生94名(前年度全10回105名) ほか全地区公民館(11館)でも高齢者学級を実施</p>	
	<p>課題等</p> <p>老壮大学の運営に関して、運営委員会が主体となって実施してきたが、大学生の高齢化に伴い役員を引き受ける人が激減している。</p> <p>令和8年度は役員の任期2年目であるため改選はないが、役員の退学により欠員が出ており、これまで以上にひとりの人が複数の役を担う形になりそうである。令和9年度の役員改選に向けて、今後の運営方法について検討が必要と思われる。</p>	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>時代の動きや変化を踏まえ、事業を考えていく必要がある一方で、主体となる運営委員の考えも大事。60代ははまだ働き盛りであり、自然と参加者の平均年齢は高くなるが、それを踏まえ方向性を考える必要がある。人気のある講座もあり、引き続き充実したものとしてほしい。高齢者は家の外での交流は大事であり館外研修などの楽しみもある。積み上げてきたものを活かしながら工夫、改善をして進めて欲しい。</p>	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する	担当課(館)
	⑤ 障がい者のための生涯学習の推進	生涯学習課
活動内容	比内支援学校及び障害者施設との連携により、障害者の生涯学習の機会を創出し、共生社会の実現に向け持続可能な活動の実践研究を行う。障がい者の生涯学習講座数:R7年度目標7講座	
点検評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 文部科学省より事業5年目として受託し、生涯学習連携協議会を3回、生涯学習講座を5回、コンファレンスを開催し、アウトプットすることができた。障がい者にとって自らが望む生涯学習活動や余暇の充実を図る活動を、合理的配慮を受けながら行える共生社会実現への実践研究を継続した。 </p> <p> 成果として、①市民(支援者)においては、心のバリアフリー、合理的配慮を学ぶ機会を提供し、学びと実践を継続的に行った。②比内支援学校及び就労施設を訪問しニーズ調査を実施、今年度の講座企画へ反映させることができた。③なんでも発表会は、連携協議会関係者、ボランティア登録者、高校生ボランティアなど多くの方が協力・運営に関わり参加者との交流もあり、共生社会への構築につながった。参加した障がい者はステージ上で自らの練習の成果を発表、観客から大きな拍手のほかペンライトや応援グッズを持ち寄り応援する姿も見受けられ会場を盛り上げ一体感が生まれた。 </p> <p> 講座全体の参加人数は、生涯学習講座に延べ316人が参加し、うち障がい者は47人の参加であった。デフリンピック応援デフバスケットボール体験会やはちくんオープン(ボッチャ)など障がい者の活動を広げる取り組みにはのべ691人参加した。今年度新たに2人がボランティア登録していただいたほか、子どもハローワークの小・中・高校生ボランティア、一般ボランティアなどが、講座やなんでも発表会などに延べ56人の協力があった。 </p>	
	課題等	<p> 課題としては、講座参加者同士のつながりの構築、社会教育施設における障がい者が参加できる講座企画、障がい者サポーターの増員、講座情報の継続的発信。 </p> <p> また、サポートだけでなく、一緒に活動する体験を通じた障がい理解の機会提供などがあげられる。 </p>
学識経験者等意見	5年間、難儀もされて定着を図られたと思うが、国からの委託がなくなったところで、これからの取り組みが大事になると思う。障がい者、家族、その他関係者も大変期待している事業だと思う。やれる範囲で継続していただきたい。	

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 学校支援活動事業の推進
活動内容	市内の全小中学校を対象に、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用する等、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	<p>学校運営協議会の構成員として地域学校協働活動推進員が参画し、学校と地域の連携・協働を図った。(R7年度は、22協議会中21協議会)</p> <p>①各校の特色ある授業・大館ふるさとキャリア教育の支援、クラブ活動やスキー教室等の学校行事における地域協力者のコーディネートによる教職員の負担軽減。</p> <p>②地域課題の解決に向けた活動として、児童・生徒による地域のクリーンアップ活動や防災活動、伝統芸能・郷土芸能の継承、福祉施設での活動など、さまざまな地域と学校の協働活動を推進した。</p> <p>③学校ホームページや学校報等により、児童・生徒の様子や地域協力者の活動状況を伝えることで地域協力者の意欲向上や新たな人材確保につなげた。</p>
課題等	<p>学校が抱える課題や地域と連携・協働して取り組むべき課題について、十分な情報共有と一体的な推進を図るため、学校運営協議会の構成委員として、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)が参画できるよう、引き続き周知・啓発に努めていく。</p> <p>また、学校により地域学校協働活動推進員の活動時間に差があることから、予算額に対し活動時間が少ない学校に対しては、改めて地域学校協働活動推進員を有効に活用していただくよう声掛けする必要があると思われる。</p>
	<p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	<p>コーディネーターの方に頑張ってもらいたいのはもちろんだが、負担になっても困る。昨今、安全対策も必要とされており、サポート体制が重要である。学校と地域とが、うまく連携を図っていければ。コーディネーターは学校と協力しながらやっていく活動であり、充実した活動につながるよう支援をお願いしたい。</p>

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る	担当課(館)
	② 家庭教育の充実	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべりひろばひだまり」は家庭教育支援チームと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。家庭教育推進事業：R7年度目標1,900人	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
点検評価	各種講座・研修会の開催により、育児不安の軽減、地域全体での見守り体制の構築を図ることができた。 ○「おしゃべりひろばひだまり」5月~2月にかけて全12回開催。参加者307人 ○「子育て講座」全40講座のうち28講座実施 参加者1,067人 ○「親育ち！家庭教育支援ネットワークづくり事業」 ・適応指導「おひとり教室」ふれあいお楽しみ会 計2回 参加者44人、ボランティア6人 ・助産院イスキア菅原光子先生による孫育て講座 計1回、参加者8人 ・学校、家庭、地域連携総合推進事業スキルアップ研修会「AIの時代に自分で考える力を育てるために」講師：東京家庭教育研究所 澤木 孝枝 氏、参加者96人(オンライン参加含む) ・中学校特別学級支援事業 計3回(北陽中学校1回、東中学校2回) 参加者計22人 ・「Let'sGo! 木育ひろば」 計20回、参加者440人 各講座 合計 1,990人	
課題等	子育て講座について、例年40講座実施していたが28講座と減少した。また、令和8年度より枠数が40講座から30講座へ削減となる予定である。 孫育て講座について、高齢者サークル等を対象に年3回ほど実施してきたが、講座を希望する団体が見つからず、今年度は1回のみで開催となった。また、令和元年度より開催を続け、地域のかたへ十分に孫育てについて周知できたことから、ほかの講座の展開を検討していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	家庭教育推進事業は、子どもを持っている親世代にとっては大変ありがたいし興味深いものなので、積極的に応援してほしいと思う。 ただ毎年のようにやっても、ニーズが少なくなってきたものについては、思い切って別の方向に持っていくというのも当然必要だと思う。その辺りは実態をうまく把握しながら、形を変えてやっていただければいいのかなと思う。	

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る
	担当課(館)
	生涯学習課
	③ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施
活動内容	放課後の児童が「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。各施設の児童を交流を図るために、かるた大会等の交流事業や支援員を対象とする定例会開催する。(随時開催)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>今年度もクラブでの季節の行事やイベントを実施し、児童に対して放課後及び土曜日等の体験活動を提供することができた。 定例会は随時開催し、支援員との情報の共有に努めた。また、支援員の研修会は、資質向上研修会、経験年数に応じた体系的な研修を行う児童厚生員等基礎研修等へ参加していただき、支援員の現場での実践力向上と個々のスキルアップを図り資質の向上に努めることができた。</p>
課題等	施設設備や面積要件、三密を避ける対策等クリアすべき事案を整理しつつ、児童数の減少とも結びつけながら図っていく必要がある。 また、支援員の研修の場の充実を図ることが求められていることから、秋田県及び秋田県児童館等連絡協議会が主催する研修会などに参加することで、支援員の資質向上を図る。今年度の交流事業については、豪雪や選挙のため、やむを得ず中止とした。今後は交流事業のあり方も検討していきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	支援員の資質向上に向けた研修や情報交換の機会が設けられているのは、いいことだと思う。何をしたいのか、不安な部分も多いと思うので、そういう面でサポートしていただければ心強い、是非継続していただきたい。安全面も考慮しながら可能な限り応援していただければ、家庭教育の充実にもつながっていくと思うので、是非サポートを充実させていただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る
	担当課(館)
	生涯学習課
	④ 音楽療法士派遣事業
活動内容	継続事業として、市内幼稚園、保育園、小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達に気になる子、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。全20回予定。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	<p>派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や、気になる子を含めた保育園児を対象に9回の派遣を実施した。</p> <p>先生と音楽療法士が協力することで、ドラムセットやDJセットなどさまざまな楽器を用意し、一緒に演奏や交流することを楽しみ、精神的な安定とコミュニケーション能力の向上に努めることができた。音楽を介して、心と体を活性化させ、発達障害の主な特徴となる人とのやりとり、言葉によるコミュニケーション、行動すること、感情の安定に対して効果が期待されている。</p> <p>特別支援学級や少人数単位でも利用可能で、いろいろな楽器や楽しい手法を用い、子どもが自らやりたいくなるようなセッションで、コミュニケーション能力や共感力の向上に努めている。</p>
課題等	<p>年度当初、半年後の2回に渡り事業の周知を行ったが、予定の半数ほどの実績となった。また、音楽療法の活動は家庭教育推進事業の「子育て講座」でも行っていることから、令和8年度より本事業は廃止となる。</p>
	<p>取組の方向性</p> <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	<p>当事業は廃止でも、別事業と整理統合して継続するというのであればいいと思う。</p> <p>大館市には一人しか音楽療法士がおらず、近隣市でも少ないとのことだが、音楽療法自体の効果は非常に大きいので、スケジュールの調整等をうまく図り、活動を継続していただきたい。</p>

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る	担当課(館)
	⑤ 青少年健全育成活動の充実	生涯学習課
活動内容	青少年健全育成推進方針に基づき、関係機関と連携を図りながら様々な活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。	
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 また、7月5日に中央公民館を会場に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催し、Odate Marching Band TEDAOLE and 大館ジュニアバンドによるオープニング公演や、内閣総理大臣メッセージの伝達、秋田県教育庁北教育事務所職員による特別講話を実施し、青少年の非行・犯罪防止と、社会を明るくする運動の啓発をしたほか、青少年に地域がどのように関わられるかその方策の一つについて知る機会とした。 (参集者数146人)	
課題等	様々な団体に参加のご協力をいただいております。目標人数よりも多い人数が参加している。来年度の社会を明るくする運動は、大館市が秋田県内のモデル地区となることから、「青少年を非行から守る市民のつどい」を例年以上に盛り上げるため、開催プログラムを工夫していきたいと考えています。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	長年の地道な取り組みで確実に根付いている。青少年健全育成を推進するうえで大事な役割を担っており、今年は社会を明るくする運動のモデル地区になるということで、ますます追い風となって、そういう気運が高まっていくものと思う。当然難儀するところもあると思うが、ぜひ応援してもらって青少年健全育成の大きな柱にしていきたい。	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る	担当課(館)
	⑥ 少年相談センターの活動の充実	生涯学習課
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	青少年や保護者が抱えるさまざまな問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、教育研究所、おおとり教室、子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めた。また、少年指導員28名により、市内全コンビニ店への子どもの見守り支援活動、神明社祭典に伴う各講練習時の巡回活動、卒業式の市内巡回活動、生徒指導主事協議会との合同巡視などを通して、青少年の健全育成に努めた。(少年指導員の年間活動延べ200人を予定。令和7年度末をもって廃止する。)	
課題等	令和7年度の相談件数は、延べ418件(3月末時点)となっており、前年同期比で増加している。(前年度実績:402件) また、2人体制による相談センター業務であることから、現状の相談件数に対応できるよう業務内容の見直しを図りたい。 なお、令和7年度末をもって少年指導員が廃止となることに伴い、毎年4月に開催している少年相談センター運営協議会の会議内容が相談業務のみとなることから、令和8年度以降、運営協議会の在り方などを検討していく必要があると考えている。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	本業務は青少年が抱える悩みや問題を解決するうえで無くてはならない業務だが、相談件数は増加しているとのことで、指導員の方の精神衛生、健康面のサポートをお願いしたい。 運営協議会の在り方検討も含めて、負担軽減に向けた支援をよろしく願いしたい。	

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑦ 社会教育委員の活動の充実
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。また、学校訪問・研修会等の開催を周知し、40人以上(延べ)の参加を目指す。
点検評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> ○北教育事務所主催の学校訪問は7回(13校)、市教育研究所主催の授業見学は5回開催された。 北鹿地区社会教育委員研修会は、令和7年10月28日に鹿角市十和田市民センターにおいて開催された。鹿角市立図書館 館長 小林 光代氏の講話のほか、隣接する新規オープンした図書館の施設見学を行った。 また、本市からは阿部委員長ほか3人が参加し、他市町の社会教育関係委員と「地域とともに歩む社会教育の在り方」について意見交換を行った。 そのほか、当課主催の講座や研修会など計16回の案内に延べ57人が参加し、積極的に活動することができた。学校訪問では各委員から各校の取り組みへの意見、助言など、学校を取り巻く環境の向上に対する熱意を伝えることができた。これまで懸案事項であった地区公民館への訪問活動は、令和5年度全国表彰された二井田公民館を訪問する機会を設定して、二井田三大魅力について意見交換と施設の見学を行うことができた。各種活動からの経験を生かし、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行っている。 </p> <p> 令和5年度 訪問等 延べ参加人数 54人(23回) 令和6年度 訪問等 延べ参加人数 47人(18回) 令和7年度 訪問等 延べ参加人数 57人(16回) </p>
課題等	<p>学校訪問等を通じて、ふるさとキャリア教育や学校と地域とのつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開した。また、今年度は、北鹿地区社会教育関係委員等研修会では他市町村との交流、意見交換ができたこと。さらには、東北地区社会教育研究大会に参加し、他県の事例を学ぶことができ、充実した活動となった。来年度は、東北地区研究大会が秋田市で行われるため、より多くの方の研修会への参加の機会を増やしていきたい。</p>
学識経験者等意見	<p>社会教育委員の方々の意欲がベースに無いと、いろいろな事業もできないと思う。数年に渡り活性化が図られている印象がある。活動内容も次につながっていくような事業が目に見えるので、今後に期待できている。</p> <p>8年度は秋田市開催の東北地区研修大会での発表もあり、ますます活動が広がっていく期待感がある。頑張してほしい。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
	担当課(館)
	① 「まちづくり会議HACHI」の活動への支援強化
	中央公民館
活動内容	<p>大学や大館青年会議所などと連携し、「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続するとともに、「HACHI」メンバーに対し、未来づくりについて意見を出すなど幅を広げる活動へ助言と支援をしていく。</p> <p>大館巡りやハチウインのほかに、意見交換のための会議を年5回以上開催する。</p>
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>令和7年度は鳳鳴高校生9名、桂桜高校生3名、国際情報学院生7名、計19名が参加。大館巡りならびにハチウインの開催のほか、生涯学習フェスティバルでは、バルーンアートや積み木・塗り絵コーナー等を設置し、来館した子供たちとの交流の場を作った。大館巡りでは、市内の伝統工芸、企業見学など各所で説明を聞き、「大館」を学ぶ良い機会になった。</p> <p>今年度実績:活動回数 9回のべ59名</p>
課題等	<p>今年度の活動メンバーは1~2年生で構成されていたため、各回人数確保のハードルは昨年度に比べると低かったように思う。今後も1~2年生を中心に募集する。特に大館巡りにおいて、質疑応答に消極的な生徒が多く、積極的にコミュニケーションが取れるキーパーソンをpushさせるようにしたい。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	<p>10年以上続く長い事業であり、引き続き若い世代の活動支援を図るため、多くの情報ツールを使い、OBの活用も含め活発な活動を期待する。また、HACHIに参加するメリットが明確化すると、もっと活発になるのではないかとと思う。メリットがあれば情報発信もしやすい。大学との連携も活性化の一つの手である。今後も活動を楽しみにしている。</p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施
活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。9月、10月生涯学習推進月間の来場者数目標を6,000人とする。
点検評価	<p>■ 目標を上回る (達成率100%超)</p> <p>□ 目標どおり (95~100%)</p> <p>□ 目標をやや下回る (80~94%)</p> <p>□ 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>9月、10月を生涯学習推進月間として、栗盛記念図書館、ほくしか鹿鳴ホール、北地区コミュニティセンターなど、各機関、団体等による協賛イベントが開催された。延べ参加・入場者数は9,476人。</p> <p>9月27日、28日の中央公民館会場では、キッチンカーを公募し、4つの事業者が出店したほか、みんなの木育ひろば、中央公民館サークル協議会、大館市発明協会、教育研究所等による作品展示など、生涯学習の周知と実践活動発表の機会とした。さらに、手話教室やサウンドテーブルテニス体験、InBody無料測定会など体験型のブースも設け、来場者に楽しんでいただくことができた。2日間の来場者実績は、1,879人となり、昨年度よりもやや上回った。</p> <p>今年度も各団体の生涯学習の実践の場と生涯学習を始める機会を提供し、市民の生涯学習の意欲向上を図ることができた。</p>
課題等	<p>引き続きキッチンカーなど食事を提供できるブースを設けるほか、様々な体験ができるブースをはじめとする市民の「やってみよう」想いを実現できるようなイベントとしたい。また、来年度はメイン開催日に他の協賛予定団体の主催イベントが開催される予定であることから、周知方法を含め、協賛団体の連携した取組みを通じて、来場者数を増やしていきたいと考えている。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続</p> <p>□ 廃止検討</p> <p>□ 単年度</p>
学識経験者等意見	参加・入場者数を見ると目標を大幅に上回っており、そのことが参加者の意欲向上に繋がり好循環が生まれていくのではないかと。市民の生涯学習の意欲向上を図り、参加者へのサポートを合わせて行っていただきたい。更にいいものができることを期待している。

基本目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
5	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	② 地区住民や関係団体との連携強化		中央公民館
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行うとともに、相互支援の体制を強化する。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。 また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。 今年度は、田代公民館を主会場に11月に大館市総合防災訓練を行った。 消防避難訓練は、公民館利用者や学校、町内会などと共催で各公民館で実施している。	
課題等	公民館は、地域コミュニティーの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。しかし、少子高齢化に伴い、どの地域も地域活動の担い手不足が懸念されている。 有事における地区災害対策本部としての役割として、今後ますます進むであろう高齢化社会を見据えた訓練を実施していく必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等意見	地域コミュニティの中心は公民館であるが、時代が変化する中で住民と公民館を繋ぐ情報ツールについても更新が必要である。より時代に即した対応が必要。人口減少の中で職員数も減少しているが、公民館活動にはマンパワーが必要なため住民の援助が無いと公民館活動も機能しない。災害も頻発しており、住民との連携を深める活動を地道に取組み、地域住民のため行政支援をお願いしたい。		

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	③ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
	中央公民館
活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点となっている、地区公民館及び分館等の修繕等施設整備を進めていきたい。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度は、中央公民館換気扇交換、消防設備修繕や花岡公民館FF式ストーブ購入、田代公民館ワイヤレスマイクの更新など老朽化した設備修繕・備品等の購入等が実施された。今後も、地区住民や公民館利用者等の要望をもとに、施設の修繕や備品の更新を図る。 ○令和7年度実績 1.【修繕】中央公民館(旧サン・アビ)体育館 消防用設備修繕(当初予算) 2.【修繕】釈迦内公民館 大会議室前、調理室前 消防用設備修繕(当初予算) 3.【備品】中央公民館 調理室、視聴覚準備室 FF式ストーブ購入(当初予算) 4.【備品】田代公民館 ワイヤレスマイク購入(当初予算) 5.【備品】市民交流センター 第三研修室防災(遮光)カーテン購入(当初予算) 6.【修繕】中央公民館 換気扇交換修繕(調理室、2F男子トイレ)(9月補正) 7.【備品】花岡公民館 事務室、講堂 FF式ストーブ購入(9月補正)
課題等	地区公民館や分館の一部において、老朽化の著しい施設や備品がある。特にR8年は豪雪であったため、施設の雪害破損修繕にも取り組む必要がある。 今後は、老朽化や雪害修繕と合わせ、地区住民や利用者の要望を整理し、かつ、施設管理の負担を軽減する方向での施設改修(例:屋根の雪が円滑に排雪できる改造等)に取り組む必要がある。 修繕等の予算確保は今後さらに厳しくなることが予想されるが、地区住民の生涯学習の拠点確保と地域コミュニティ維持のため、優先順位を設定したうえで、予算確保に最大限努力する。
学識経験者等意見	今年の豪雪による被害が報告されているが、今後も同様の災害が起きないとは限らない。住民のためにも公民館の適切な管理は必要であり、予算を確保して年次計画で修繕、管理を実施して欲しい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
5	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)
	④ 公民館事業の充実と参加促進	中央公民館
活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていく。社会教育講座：R7年度目標 1講座	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95～100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80～94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	地区公民館では、長く継承している釈迦内公民館の「相染慶老大学」、伝統を繋ぐ十二所公民館の「かまくら焼き」、名称を工夫しながら実施している長木公民館の「NAGAKIオリンピック」、「館長のちょぺっと講座」など地区公民館ならではの事業が実施された。中でも上川沿公民館の「春を呼ぶ音楽祭」は、約30名の参加があり大変好評であった。	
課題等	地域住民の減少が、公民館活動の停滞になりつつある。しかし、時代にあった地域住民のニーズを把握しながら事業の見直し・改善を進める必要がある。そのためには、必要に応じてNPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動(社会貢献)を活用して事業を充実させる。また、他市町村を参考にしたり、複数の公民館共同による事業をさらに進め、地域を超えた新たな人間関係を形成したい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	すごく具体的で特徴のある事業が行われている。今の人間関係を大事にして今後も継続して欲しい。また、公民館間の情報共有や出前講座などの情報発信に取り組み、事業の充実、取り組みを継続して頑張してほしい。	

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑤ 木育事業の実施
活動内容	移動型木育ひろばを展開する。市民交流センターの木育空間を利用した乳幼児から高齢者までの世代間交流の機会創出を図る。木育事業の回数：R7年度目標28回
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95～100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80～94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
点検評価	<p>前年度に引き続き移動型木育ひろば「Let'sGo!木育ひろば」を、駅なか交流センター、介護老人保健施設、児童センター等で計20回実施し、幼児から高齢者まで延べ412人が木のおもちゃに触れながら楽しい時間を過ごした。</p> <p>2度目となる「みんなの木育ひろば」については、2日間で延べ1,879人の来場があり、多くの子育て中の親子が全国各地の選りすぐりの木のおもちゃと出会い、木の感触や香りを感じながら楽しい時間を過ごし、自然環境の保全や木材の良さを学ぶことができた。</p> <p>また、開催にあたり市内の木育インストラクター延べ29人、高校生7人にもボランティアとして協力いただき、世代間交流の場にもなった。</p> <p>R7年度活動実績</p> <p>①Let'sGo!木育ひろば 20回(412人) ②出前講座 7回(219人) ③みんなの木育ひろば 2回(1,879人) 計28回(2,510人)</p> <p>○木育ひろばの活動を広げる取組</p> <p>ほくしか鹿鳴ホール開催</p> <p>①もくもくひろば 4回(292人) ②花巻おもちゃ美術館工作教室 1回(170人) ③木育フェスタ 1回(530人) 計6回(992人)</p>
課題等	<p>より多くの市民が木に触れる機会を創出するため、木育イベントやワークショップを開催し、木の良さや自然環境の保全を周知していく。</p> <p>秋田杉をはじめとする市内及び県内の木や自然についても、木育インストラクター・木育インタープリターによるお話やイベントを通して周知していきたい。</p>
学識経験者等意見	<p>これからも期待できる、素晴らしい活動だと思う。小さい子から高齢者の方々まで対象も広く、癒し的な意味合いもある。空間構成みたいなものがとてもいい。人気も非常に高い。</p> <p>継続して事業を展開していただきたいし、サポートを続けてほしい。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
6	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める	担当課(館)
	① 図書館運営に関する進行管理	生涯学習課
活動内容	指定管理者の提案書に基づく適正な運営への必要な支援と指導を行うとともに、第四期市読書推進計画を指定管理者と共有し、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	指定管理者による令和7年度事業計画と数値目標を提出してもらい、計画的な図書館及び松下村塾の利用促進と読書の啓発活動に努めている。 利用促進としては、古本バザーや工作体験などの多彩な催しを行う図書館まつりの開催のほか、絵画や絵手紙等の展示会、大館市に縁のある吉田松陰と松下村塾の魅力を幅広く市民に伝える事業など、様々なイベントを開催している。 また、読書啓発活動としては、今年で55回目となる大館市読書感想文コンクールを開催や、本を借りてビンゴゲームをする「図書館でビンゴ」、読書の幅を広げる「本のおたのしみ福袋」など、工夫を凝らした読書啓発活動に努めている。 読み聞かせボランティアサークルおはなしの森代表 遠藤 順子氏が令和7年度「子供の読書活動優秀実践団体」に対する文部科学大臣表彰を受賞された。これまでの主な活動であるブックスタート事業の読み聞かせ、市内中学校での保育実習での読み聞かせ講座の講師など多くの活動に意欲的に取り組み、子どもの読書活動推進に大きく寄与しており、図書館の利用促進にも貢献している。 (来館者数:目標135,000人、実績129,547人) (貸出冊数:目標197,000冊、実績191,370冊)	
課題等	人口減少や社会情勢の変化を踏まえながら、図書館等の利用促進や読書の啓発活動として、読書環境の整備や情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	読み聞かせサークルは素晴らしい賞を受賞し、張り合いも出てますます活動が活性化されていくものと期待される。 来館者数約13万人は人口減の今にあっては決して少なくない。図書館はまた見直されていると思うし、読書は非常に大事にすべきもの。読書環境の整備や情報発信を充実させ、図書館運営に努力していただきたい。	

基本目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
7	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課(館)
	① 芸術文化の鑑賞及び体験機会の提供	生涯学習課
活動内容	指定管理者との連携により、ほくしか鹿鳴ホール自主事業とさらなる鑑賞機会の充実を図る。 文化庁等が所管する各種事業の情報を学校、文化施設、関係団体へ積極的に周知・活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95～100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80～94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
点検評価	指定管理者による令和7年度事業計画を提出してもらい、計画的な自主事業等の開催と施設の維持管理により施設利用の促進に努めている。 新規事業として、市内外で活躍しているアマチュアサークルやアーティストの演奏に加え「鹿鳴 音楽フェスタ&クラフト市」、第3回目となる「大館うたの日」を開催し、文化会館の賑わい創出に貢献した。 仙台フィルハーモニー管弦楽団によるフル・オーケストラのコンサートを11月12日ほくしか鹿鳴ホールにおいて開催した。大館市内中学校1・2年生対象に8校900人の中学生が参加した。指揮者は、秋田市出身の「佐々木新平」氏で世代を代表する指揮者として注目を浴びている方である。本格的なクラシック音楽の鑑賞のほか中学生の指揮者体験など約90分、生の音楽の魅力を感じ、フル・オーケストラの大迫力のサウンドを体験した。また、佐々木氏は時折秋田弁を交えた語りで、生徒たちとなじみながら、オーケストラと一体となってビリーブの合唱を行い、大変会場が盛り上がった。文化施設を会場とすることで鑑賞の場を学校の外へ広げ、複数の学校で合同開催をするなど、より幅広い体験の機会を創出するとともに将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることができた。 来館者数:R5年度61,714人、R6実績69,075人、R7実績73,259人	
課題等	ほくしか鹿鳴ホールも建築から40年以上が経過し、改修等を行いつつも、年々経年劣化が目立ってきている状況ではありますが、今後も市民と共に楽しみ・喜び合える文化事業の実施や、多彩で魅力ある集客力のあるイベントを開催し、文化芸術活動の継続・発展に努めていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	来館者数増、市外からの来客は、魅力あるイベント開催、成果の現れと思う。宣伝効果もあり、広域的な企画にもなっていると思う。 仙台フィルハーモニー管弦楽団の鑑賞について、学校として芸術文化はすごいお金が掛かるので、行政の支援は本当にありがたいと思うし、子どもたちにとって貴重な経験となるので、継続して応援をいただければと思う。	